



RESTART
Challenge More.

ゆうばり 市議会だより

60号
2023.8



編集委員会より

5月より新体制となり少しずつ活動の幅を広げております。北海道・木育（もくいく）フェスタ参加、夕張高校公開授業参観、夕張市立診療所視察など行かせて頂きました。

YouTubeによるインターネット配信も現在準備を進めており今後も市民の皆様の為の市議会として活動を進めていこうと思います。



第2回定例市議会一般質問	千葉 勝議員・高間澄子議員	P 2
	君島孝夫議員・徳谷康憲議員	P 3
	櫻井 暁議員・工藤政則議員	P 4
夕張高校・植樹祭		P 5
夕張市立診療所		P 6



二期目の市政運営における 市長のスタンスについて



千葉 勝

千葉 選挙を振り返って批判票をどのように受け止めているのか市長の率直な感想について。

市長 この度の選挙に臨むに当たって市役所幹部職員が職を辞し出馬表明を行ったときから厳しい戦いになることは予想していた。

私を支持された方、支持されなかった方、全市民に、これからの夕張のまちづくりに向けて、市民が意を一つにしてご支援、ご協力をいただければという切に願っています。

千葉 一期目の厚谷市政に対する不満を感じた市民が一定程度いました。市民の不満をどのように分析して、二期目の市政運営にどのように臨むのか、市長のスタンスについて。

市長 前回選挙で私を支持していただいた方の一定数が相手候補の支持に回ったことは、私のこの間の市政運営に対する評価であり、私ではない舵取り、すなわち変革をもとめたものと認識している。

選挙結果を真摯に受け止め公約に掲げた29項目について4年間の任期中に達成できるよう邁進したい。

市民との間に意思の疎通に不備が生じないよう共通理解に努め、誠実に市政運営を進めます。

千葉 二期目に市職員労働組合が推薦決定しなかったことは、市長の一期目の取り組みに不満を感じたこととの現れだと思う。二期目は職員に對してどのようなスタンスで臨むのか。

市長 推薦をいただけなかったことは大いに反省しており、残念に思っている。この4年間の任期中、首長をしっかりと補助していただけた関係構築が必要不可欠と考えてきたところであり、それに努めてきたところであり、結果として相互理解に及んでいなかったことは残念で仕方がない。二期目は、特に一般職員との顔の見える関係づくりに努めて参りたいと考えている。

千葉 安定した財政の確立のため、職員の予算執行への理解や財政規律遵守、自主財源確保に取り組みとしていくが、その具体的な内容について。

市長 これまでの予算執行の取り組みを踏襲しながら、コンパクトシティの推進や普段からの事務の見直しなどにより行政コストの適正化を図り、ふるさと納税などの自主財源の確保に努めながら、安定した財政の確立に向けて取り組んでまいります。

公共交通体系の取り組みについて

障がい者、高齢者をサポートする

投票支援（代理投票）について



高間 澄子

高間 市外路線廃止に伴う代替交通について第一回の定例会で、栗山町經由長沼町行きデマンドを軸に検討を進めているとの説明であった。廃止まで残された期間4カ月となったが現在の進捗状況を伺う。

市長 運行形態二案で検討している。一案はバス、タクシー事業者が実施主体の有償で運行する一般乗合旅客自動車運送事業、二案は夕張市が実施主体で運行する自家用有償旅客運送事業で6月末に地域公共交通活性化協議会で成案を得たい。

高間 民間バス路線とのスムーズな乗継、待合所の調整について伺う。

市長 関係機関へ協力をお願い、停車場所を工夫等確保に努める。

高間 市民周知はどの様に考えているのか。

市長 市政懇談会を7月の開催に向けて調整、準備を進めている。

高間 市内の交通資源であるJRの利用者増に繋がるよう市内路線と連動させる施策が必要と思うが見解を伺う。

市長 JRと市内路線との連携が

必要と認識している。今年度地域公共交通計画策定の中で利用者のニーズへの対応と交通資源の維持、将来に亘る交通体系の構築を考えて参ります。

高間 代理投票を依頼する際、選挙人の意思表示の確認が曖昧で時に選挙人が不快な思いをするケースが見受けられる。本市において代理投票を希望する場合の手順を伺う。

選管委員長 本市において、投票立会人の意見を聞き、補助する事務従事者2名を選定。一名は候補者の氏名を投票用紙に記載、もう一名は立会し投票する。法に基づいた手順で行っている。

高間 選挙人が代理投票支援の要望を伝えられない為、投票を断念するケースもある。この様な事を回避するため、障がい者や高齢者を手助けする「投票支援カード」の導入や、どんな手伝いが必要なのかを記した「コミュニケーションボード」の使用でスムーズな投票が可能になると思いが選挙管理委員会の考えを伺う。

事務局長 事例を参考に、障がい者や高齢者が投票し易い環境作りを研究する。

市内観光資源の活用について



君島孝夫

君島 市はこれまでに市内観光資源の掘り起こしや情報発信の強化を進めてきたとのことだが、どう観光客誘致に繋がったのか伺う。

市長 最も観光客の入込数が多い、道の駅夕張メロードのリニューアルを完成させ、南の玄関口としてふさわしい改修を行い、事業者参入の機会創出、情報発信強化を積極的に行ってきたところです。また、自然と歴史の魅力を併せ持つシューパロ湖にも着目し、湖面活用や見学者の利用増加に向けたイベントづくりと、安全な湖面活用に向けたルール作りも進めている。さらに、関係団体と連携したメロンランの創設や、市の予算を活用した既存の市内イベント（例えば夕張メロンまつりや紅葉まつり）などの磨き上げも支援している。

君島 資源の掘り起こしの中で夕張鹿鳴館が長期にわたって休館している状況が続いており、市として今後の再開に向け、所有者と連絡等は取れているのか伺う。

市長 夕張鹿鳴館に関し、登録有形文化財と云う側面と、炭鉄港でも構成文化財の一つとなっており、状況に応じ、教育委員会・地域振興課から先方に連絡を取って来ている。

君島

夕張市と、北海道・夕張倶楽部、元夕張鹿鳴館の三者での覚書（夕張の自然を活用し、夕張市内外の集客、交流人口の増加を図る。また本物件外観、意匠を保全し、劣化防止に努めるなどの条項）は守られて無い、雪の重みで屋根の一部が壊れたりしている、何かの折りに所有者了解のもと館内を見るべきではないか。

市長 引き続き施設の修繕及び再開を所有者に求めていくことが必要だが、施設の維持管理には一定の費用がかかることも認識している。

所有者から再開に向けた相談があった場合には真摯に対応したい。

君島 任用する観光振興の地域おこし協力隊に期待することは。

市長 関係団体と連携強化し、観光振興の担い手としてリーダーになることを期待する。

君島 市内事業者の稼ぐ仕組みの確立とはどのような内容か。

市長 市内事業者と市民、市外来場者をつなぎ、店舗への誘客を促進したい。そのためにイベント出店を促していきたいと考えている。

隧北地区の観光施設について



徳谷康憲

ホテルシューパロ再開について

徳谷 令和4年第3回定例会において、ホテルシューパロについては今後の扱いが未定であり、市は引き続き施設の再開要請と情報収集、意思疎通に努め、再開の実現に向けて対応するとの答弁でしたが、その後の状況について伺う。

市長 スキー場及び合宿の宿ひまわりが営業を再開したが、ホテルシューパロについては、閉鎖の状況が続いております。所有者は、再開する意向を持っておりますが、現在のところは、具体的なプランが示されていない状況であります。市としては、機を捉えて所有者及び運営会社との面接機会を確保するとともに、情報収集にとどまらず、再開に向けた要請を強く行ってまいります。

ホテルマウントレースイの再開について

徳谷 ホテルマウントレースイについては、今年の冬の再開を目指し、修繕改修を進めると認識しているが、進捗状況を市で把握しているのか伺う。

市長 ホテルシューパロ同様、所有者は早期に再開する意向を示す一方

で、今年の冬に再開することに対する具体的なスケジュールについては現段階では示されていない状況です。ホテルシューパロ同様、所有者及び運営会社との面接機会を今以上に増やし、情報収集はもちろん、早期再開に向けた要請を粘り強く行ってまいります。

冷水山の活用について

徳谷 スキーシーズン以外の冷水山については、軽登山などで活用すれば観光資源になると考えるが、冬季以外の活用について市長の考えを伺う。

市長 冷水山は市の重要な観光資源の1つと認識しております。しかしながら、冷水山は民間所有地であり、所有者は、安全管理上の理由により、原則、所有者が把握できない一般客を受け入れていない状況となっております。市としても、安全確保は重要と考えておりますが、具体的な活用計画ごとに安全確保が図られる場合については、活用が可能となるよう検討いただくことを、所有者に要請してまいります。

小中学校の学校給食無償化と

生理用品設置を！

行きたい・行かせたい魅力ある

夕張高校を！

櫻井 現在、道内40市町村が学校給食の無償化を実現。定住や移住の観点からも子育て世代には無償化は重要な施策となるのではないかと。

市長 今までも物価高騰対策として献立を工夫し交付金を財源に対策している。今後子育て政策全体の中で検討したい。

櫻井 市長予定候補への公開質問状において「生理用品の配備は令和5年度に設置すべく対応したい」との回答があったことから、現在の検討状況と対応について伺う。

市長 現在、設置に向けて準備を進めている。まずは試験的に実施し、先生の負担や限られた予算の中で本来購入すべきものに影響がないかなど検討したうえで実施したい。

櫻井 高校魅力化事業での「夕張の歴史風土と環境を生かした独自のカリキュラムづくり」とは具体的にどのような内容か。

市長 具体的には『かつて石炭で日本を支えた夕張市が課題先進地域として、人材を育て日本を動かすエネルギーとして輩出する』ビジョンを掲げている。

櫻井 高校の魅力とは将来の夢に向かっていること。進学先はなりたいたいのもの、やりたいことができる環境を選ぶ。課題解決のために進学したい生徒が実際にいるのか疑問。



櫻井 暁

メロンやスキー、自然環境などの分かりやすいコンテンツを中心に据えるお考えはないのか伺う。

市長 混とした世の中で困難に背中を向けることなく解決しながら前に進んでいく力を携えて社会に出ていただきたい。メロンやスキーなどはどのように活用できるか、魅力化メニューとは別なところで活用していくか、今後の検討課題。

櫻井 保護者から高校スキー部の創設が求められているが実現の可能性は。

市長 ニーズが高まってきた際には高校に要請するとともに、創設された場合には「チャレンジ補助」などによる支援を検討。

櫻井 高校給食の実施はこれから全国募集を踏まえた政策としても実現すべきと考えるがいかがか。

市長 他市町村の取り組み状況、衛生面での関係法の解決策、道教委の見解、事業費、市民のご意見など情報収集しどのような取り組みが可能か研究していく。

櫻井 共同調理場では人員など含め難しいということであれば、市内の配食業者を斡旋し半額補助を行うなどの方法も考えられるのではないかと。

市長 そういった対応が可能かどうか、実施するか否か今後研究する。

農業振興政策について

工藤 農業を基幹産業と位置づけ夕張メロンを基幹品目とされていまして、農家の担い手確保の進捗状況と今後の農業関係機関との三位一体での協議の進め方について。

市長 これまで農業サポーターや外国人技能実習生などの受け入れと住環境の整備を推進し、市営住宅の目的外使用などにより受け入れ環境の改善を図っているところだ。

農業サポーターについては応募人数は多いものの採用者は少なく、早期に離職される場合もあることから、今後とも引き続き担い手を安定的に確保できるよう努めて参ります。

三位一体の協議については夕張市農業振興協議会に定期的な情報交換の出来る場として新たな部会の設立に向けて検討をしている。

市としては、生産者や農業関係機関の皆様と活発な議論を重ね、現場の意見に基づいた、より可能性の高いより確実性の高い施策に取り組みで参ります。

工藤 これまでも農業サポーターの全国募集や住宅の確保を実施してこられておりますが、農業従事者も多様化する中で、住環境も様々なニーズに応えることが必要と考えるが、この現状と今後の方向性について。



工藤政則

市長 市営住宅の目的外使用の制度につきましては、本来の入居者の入居を阻害しない範囲で短期滞在できる住宅として四団地、十四戸が国の承認を受け目的外使用の対象となっている。農業サポーターや外国人技能実習生などの農業従事者を受け入れるためには住宅の確保が重要であり目的外使用の制度などを活用し努力をして参りたい。

工藤 農業政策の執行体制とこの現状の中での職員の育成について。

市長 本市農林係の職員体制ですがプロパー職員三名のほか担当主幹、課長とも派遣職員を充てております。限られた職員で行政を運営する必要がある本市の事情に鑑みても、責任ある役割にプロパー職員を据えることが出来ていないことについては改善すべき点だと私も考えております。

一方でこの間、幅広い視点を派遣頂いている職員から、本市の農業分野に還元できたというプラスの面もあると考えています。

プロパー職員については、各種研修や配置換えによりシェアの拡大を図るなど鋭意実施しているところであります。財政再建後を見据え育成に努め早期に責任ある役割に配置すべく検討して参ります。

キーワードは

探求 と 協働!



各クラスの授業を参観、どの教室も落ち着いた和やかな雰囲気の中で学んでいます。
その後、校長先生から学校の現状と課題についてお話をお聞きし、地域との連携が一層求められていることを確認しました。

北海道・木育(もくいく)フェスタ2023 第73回 北海道植樹祭



5月28日は高間・櫻井・徳谷・荒井
で厚真町にて植樹祭に行って参りました。

雨が降りそうな天気の中、沢山の
人が集まりました。

夕張市立診療所 / 介護医療院夕張



1階正面入口を入ってすぐの受付前です。
待合ホールのスペースが広くとられています。



2階食堂・談話室です。広々としており、入院患者・
入所者の皆様がくつろげる空間になっています。



■建築概要

地下1階・地上2階 鉄筋コンクリート造

■延べ床面積 4,480㎡

■診療科目 11診療科

■病床数 19床

■併設介護医療院 入所定員19名

令和5年9月1日(金)供用開始 9月4日(月)診療開始です。



1階待合ホールから外を見たところです。
ガラスが大きく明るく解放的です。



2階生活訓練スペースです。畳敷きのスペースとなっており、
くつろぎながら自宅に帰ったときの訓練や談話ができます。

夕張市議会だより編集委員会

委員長	工藤政則
副委員長	櫻井 暁
委員	徳谷康憲
委員	荒井周司
委員	君島孝夫
委員	千葉 勝
委員	高間澄子

第3回定例会市議会の予定

9月7日 午前10時30分より初日
9月8日 午前10時30分より2日目
9月21日 午前10時30分より最終日

委員会の予定

行政常任委員会 8月31日 午後1時30分より
決算審査特別委員会 9月15日 午後1時30分より